

夜叉ヶ池山開き

神秘の池を目指して…

5月31日、夜叉ヶ池の山開きが行われ、小雨が降るあいにくの天気の中、町内外から登山愛好者ら約100人が訪れました。

登山口ではシーズン中に訪れる登山者の安全を願う安全祈願祭が行われ、龍王夜叉太鼓保存会による太鼓と吟舞しゃくなげ会による舞が奉納されました。神事が終わると登山道が開かれ、訪れた人たちは、希少野生動植物種「ヤシャゲンゴロウ」が生息する池を目指し一斉に山に入りました。

夜叉ヶ池の自然を守る夜叉ヶ池ボランティアアパトロール員によると、本格的に雪が降る11月中旬まで登山を楽しむことができるということです。

高齢者保養事業

気の合う仲間と楽しむひとときを

5月28日から7月7日にかけて、各地区で65歳以上の方を対象に、老人クラブ連合会会員の加入勧奨と町内の温泉施設を利用して昼食をとり、楽しいひとときを過ごしてもらおうと、高齢者保養事業が行われています。

6月1日、花はす温泉そまやまで行われた東大地区には59人が参加。健康づくりのための簡単な体操を行った後、輪になって踊ったり、気の合う仲間と歓談したりと昼食会を楽しみました。参加者らは温泉につかり、美味しいものを食べ、思い思いの時間を過ごしました。



河野の梅

河野の梅で「うめえ〜」梅干しを作ろう

6月13日、14日の両日、河野シーサイドパーク駐車場で、第13回河野うめまつりが行われ、収穫したばかりの「紅サシ」を購入しようと、たくさんの人たちが訪れました。会場では、青梅のほか梅干し、梅ワイン、梅ジュース、梅ソフトなどの加工品が販売されたほか、イカ焼き、サザエのつぼ焼きなどの露店が立ち並び、まつりを盛りあげました。

また、生産農家の梅園や町営梅園を会場に開催した梅もぎ体験にも、大勢の人が参加。毎年来ているという常連さんが多く、梅園にある約五百本の梅の木から、青梅をひとつひとつ丁寧にカゴいっぱい収穫しました。

その他、恒例のうめぼしのたね飛ばし長距離離王決定戦や青つめ早つまみ競争、バルーンアートショーなども行われ、訪れた人たちは河野の特産品を味わうとともに梅にちなんだゲームを楽しみました。

【梅もぎを体験しよう】

- ・今年で7年目。長浜から来ています。河野の梅を食べてから、スーパで梅を買っていません。手ごろな値段でうれしいです。
- ・河野の梅は果肉がたっぷり。毎年、梅干しにしますが、つい食べ過ぎてしまいます。
- ・河野の梅はおいしいと聞いて初めての参加。どんな梅干しができるか楽しみです。

この事業は(財)地域社会振興財団の交付を受け、長寿社会づくりソフト事業として実施しました。(後援(財)地域活性化センター)